



いのほなハーモニー

Harmony

65

2022.MAY

特集

Freshers2022 笑顔とともに紹介します! 医療従事者の仕事

チームノチカラ

緩和ケア支援チーム「治療中のがん患者さんの痛みに寄り添う」



千葉大学病院
CHIBA UNIVERSITY HOSPITAL

Freshers
2022

「『じぶんらしく生きる』を支え、未来をつくる」
私たち看護部の理念を实践できるように

私たち看護師は、患者さんの不安や価値観に寄り添い、専門的なケアを提供することで心身ともに健康な生活への援助を行っています。そのためにも日々勉強し、知識を広げていきたいと思っています。



Nurse

看護師
名嘉 哲周



当院では、いろいろな専門職が連携して医療を提供しています。若手職員に仕事内容や自身のやりがいなどを聞きました。

笑顔とともに紹介します！医療従事者の仕事

Doctor

研修医
塙 菜摘



一人ひとりの患者さんとの診療経験を大切に、丁寧に、積み重ねていきたい

医師になって1年、研修医としてさまざまな診療科で患者さんの診療を経験させていただきました。教育担当の指導医がいつも近くで熱心に教えてくださり、1つずつできることが増えていく喜びを感じています。思うようにいかず落胆することもあります。患者さんにもスタッフにも信頼される医師を目指して、研鑽を重ねていきたいと思っています。

hers
2022



患者さんの検査を担当しています。社会のニーズに応じて、新たな取り組みも検査部は、患者さんの診療に必要な検体(血液・尿・髄液など)を検査する部門と、心電図、超音波、呼吸機能など患者さんを直接検査する部門があり、私は後者に所属しています。コロナ禍で新たに導入したPCR検査にも携わり、臨床検査技師の仕事の奥深さと魅力を再確認しました。時々刻々と社会が変化する中で、私も先輩たちのように対応できるよう、広い視野と想像力を持ち続けていきたいです。

Clinical Laboratory Technician

臨床検査技師
庭野 亜美





患者さんに安全で有効な薬物治療を届けたい！ 薬について日々勉強に励んでいます

普段は入院患者さんや外来患者さんの内服薬や注射薬の調剤、注射薬の混合調製などを行っています。担当している病棟では、患者さんが使用している薬の確認、患者さんへの服薬指導、薬の使用量や相互作用などの確認を行っています。安全で有効な薬物治療のため、患者さんや他職種とのコミュニケーションを大切にしています。



薬剤師
市川 智彬



臨床工学
技士
喜多村 彩

Clinical Engineer



安全かつ迅速に医療機器を操作し、 より良い医療の提供に貢献したい

病院内で使われている医療機器は、数が多く種類もさまざま。予期せぬ故障がないよう、専門に管理する臨床工学センターで私たち臨床工学技士が医療機器ごとに適切な工学的知識と医学的知識を用いて対応しています。他職種と密にコミュニケーションをとり、日々患者さんとも向き合っており、幅広い知識や経験を積み上げ、安全な医療の提供につなげていきたいです。

薬剤師
市川 智彬

医事課
事務職員
茅根 克弥

Office Worker



事務職員として病院運営を支え、 患者さんのために尽力したい

入院患者さんの請求書作成や入院費の問合せ対応をしています。1つの仕事に多くの部署が関わっており、連携して働くことの大切さを実感しています。患者さんからスタッフからも話やすく、頼られる職員になれるよう努めていきたいです。

視能訓練士
久保田 菜月

Certified Orthoptist



「眼科の検査担当が私でよかった」と 思ってもらえるよう、頑張っていきます！

眼科医の指示のもと、視力検査や視野検査をはじめ、白内障など手術前後の検査や眼鏡合わせ、小児の斜視弱視訓練などを行っています。視能訓練士になって1年。見えにくい方への接し方などを学び、検査の正確さはもちろんですが、患者さんが苦痛を感じないように、素早く丁寧な検査を心がけています。



Forerunner

チームノチカラ

「痛み」に寄り添うチームです。

「緩和ケア」と聞くと「終末期医療？」と思われがちですが、それだけではありません！



No.6 糸緩和ケア 支援チーム

当院には、主ががんの治療を目的に入院している患者さんを対象に緩和ケアを行うチームがあります。がん患者さんが緩和ケアを目的に入院する「緩和ケア病床」で働くスタッフとは別に、一般病棟で活動しています。

まず、お伝えしたいことは、緩和ケアが終末期を迎えた患者さんだけのものではない、ということ。近年は、がんなど生命を脅かす疾患と診断されたときから、生活の質の向上(QOL/クオリティ・オブ・ライフ)を改善し、「より自分らしく」毎日を過ごせるように、との考えに基づき、身体的・精神的な苦痛をやわらげる緩和ケアが治療と並行して行われています。

緩和ケアは、当院を含む全国のがん診療連携拠点病院で、通院、入院はもちろん、在宅でも受けることができます。「これくらい我慢しよう」などと遠慮せず、ご相談ください。

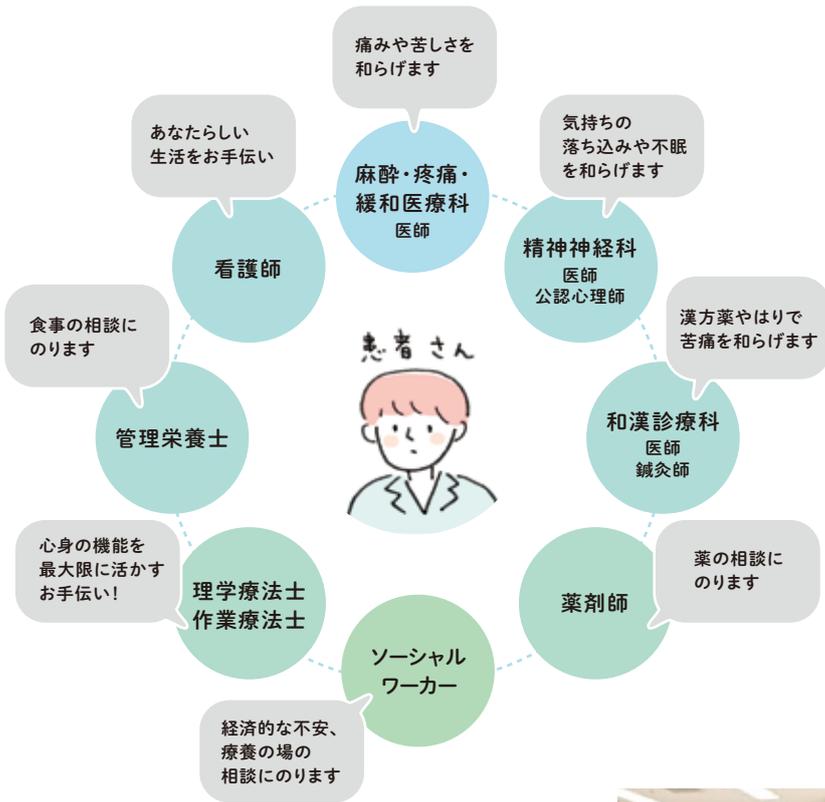


緩和ケア 支援チームの 活動

どんな活動をしているの？

緩和ケアに関する専門知識を持った医師や看護師らが定期的に病棟を回り、治療やケアを担当している医師や看護師に「痛み」など辛さへの対応方法について助言しています。

「痛み」とは、身体的苦痛や息苦しさ、だるさ、気持ちの落ち込みや不安、仕事や人間関係の悩みなどで、ご家族も支援対象です。専門的な緩和ケアが必要ときは病棟から連絡が入り、必要に応じて、専門職が患者さんのもとの出向き、対応します。



緩和ケアチームメンバーで週1回カンファレンスを実施

◀ 病棟ラウンド(見回り)

週に1回、看護師や薬剤師が全病棟を回って困りごとはないかなどヒアリングしています。

小児科
奥主 朋子 先生



患者さんだけでなく医療者も頼りにしているチームです!

小児病棟に長期入院していたお子さんが「外に出たい」と泣いてかなり辛そうでした。「お話を聴く専門の人がいるから会ってみる?」と話したら、「会いたい」と希望されたので、ご家族の承諾を得て、チームの精神科医と心理師がじっくり話を聴きました。その後、落ち着いたようで、私たちもほっとしました。



Close-up ICUにおける緩和ケア

集中治療中の患者さんの「辛さ」を和らげたい

ICU入室中の患者さんは、院内で最も重症度が高く、精神的・身体的苦痛がとても大きいので、治療と並行しながら苦痛を少しでも緩和できればと、2018年にICU内に緩和チームを発足、多職種で活動をしています。緩和ケア支援チームと合同で月1回ワーキングを実施し、スタッフの意識調査をもとに当院オリジナルの「患者の緩和ケアニーズスクリーニング」を作成中です。

「がん相談支援センター」では、当院に通院していない方の相談や電話相談も含め、ソーシャルワーカーや看護師がお話をうかがっています。



03



塩野義製薬との共同研究で 「ヒト粘膜ワクチン学部門」を設置

2022年4月から粘膜免疫誘導型ワクチン(中でも鼻から噴霧する「経鼻ワクチン」)の開発を産学共同でスタート。ワクチンによる免疫誘導メカニズムの理解促進、臨床応用の促進、人材育成に取り組みます。

04



ご相談ください!

「がんゲノムプロファイリング検査」

保険診療でがん関連遺伝子を多数調べ、多職種が集まって薬剤選択など治療方針を検討します。適応が標準治療の終了見込みなど、がん種によっても異なりますので、ご希望・ご興味のある患者さんは主治医にご相談ください。

▶▶ 国立がん研究センター検査紹介ページへ



01



「がんになってもパパ・ママに」 千葉県がん・生殖医療相談支援 センターがサポート

がん治療などの中には、妊娠に必要な生殖機能に影響を与えるものがあります。千葉大学病院に設置された当センターでは、治療開始前に妊娠できる力を残す「妊孕性(にんようせい)温存療法」についての情報提供や、患者さん・ご家族に対する個別相談も行っております。治療費用の助成制度もありますので、お気軽にご相談ください。



ご相談を希望される方は、
お電話(043-226-2749)までご連絡
ください。くわしくはホームページへ。

02



特定看護師の2期生が誕生 「これまで以上に、患者さんに 寄り添うケアを」

3月10日に看護師特定行為研修の修了式を行い、特定看護師の第2期生が誕生しました。特定看護師は、あらかじめ医師が作成した手順書に示された病状の範囲内で、医師の判断を待たずにタイムリーなケア(診療補助)ができます。



05



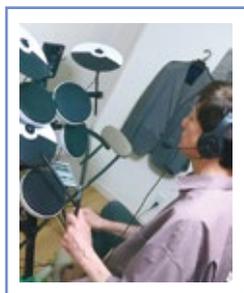
新採用の医師・看護師ら200名が 感染予防のガウン着脱法を学ぶ

新年度がスタートした4月1日、新採用となった職員を対象に感染対策研修を行いました。ガウンや手袋などの着脱を実際に体験した医師の一人は「病院で働くという責任と自覚が強まった」と感想を語りました。



医療者が取り組む研究をサポートする相談会、ワークショップなどをオンラインとのハイブリットで行っています

どんなに医学が進歩しても、現場には課題が満ちており、それを解決する糸口を、医療上のエビデンス（証拠）として計画的に調査し、合理的な医療に繋げることが、あらゆる臨床研究の意義です。当センターは、研究者をサポートすべく、関連部署と連携し、研究者と向き合っています。



off shot!

早寝早起きで、朝3時頃から段々明けていく空の色が好きです。ジョギング+BMX自転車、水泳、筋トレ、電子ドラムなどでカラダを鍛えています。

医療者が取り組む臨床研究をサポートして患者さんを笑顔に！

臨床研究開発推進センター 准教授
菅原 岳史



どんな業務を？

さまざまな診療科が取り組む研究を「立ち上げ」からサポートしています。研究を進める上で困っていることがあれば相談に乗ったり、事例を紹介したり、医師だけではなく、他のスタッフも含め、研究相談にも乗っています。



研究に取り組む医療者にいつも伝えていることは？

医療現場で「絶対に安全」ということはありません。「何か変わったことはありませんか？」と漠然と聞くのではなく、「お腹が重い」「眠気がする」などの安全性情報を具体的かつ積極的に聞き出す姿勢が

研究者に一番大事な資質だと思いますので、「光(都合の良い所)ばかり見ようとしなくて」と伝えていきます。



患者さんにお伝えしたいメッセージは？

患者さんと医療者の共通の敵は「病い」であり、私たちは仲間です。より良い治療方法を生み出すため、同じ病に苦しむ患者さんのため、臨床研究があります。ご協力いただく患者さんには、研究内容を十分ご理解いただくことが大変重要です。その研究成果は、水平垂直に展開し、遠く見知らぬ地の患者さんを、そして未来の患者さんを笑顔にしていきます。

CHIBADAI

おくすり手帖

漢方薬にも副作用があることをご存じですか？

漢方薬の歴史はとても古くて、日本人に馴染みの深いお薬もたくさんあります。サプリメントのように気軽に飲める印象をお持ちの方もいるかもしれません。しかし、漢方薬によって思わぬ副作用が出ることもあります。また、漢方薬には色々な種類の生薬が配合されているため、漢方薬を何種類も飲むと同じ生薬を多くとり過ぎてしまい、副作用が出ることもあります。市販の漢方薬でも注意が必要です。



漢方薬で報告されている副作用の一例

- 偽アルドステロン症
(血圧上昇、体重増加、むくみなどの症状)
- 上部消化器症状
(胃もたれや食欲不振などの症状)
- 皮疹
- 肝機能障害 など

不安な症状がある場合は、
医師や薬剤師に相談しましょう！



薬剤師
高塚 博一

Special Thanks

ご寄附いただいた皆さまにこころから感謝の気持ちをこめて

2022年3月の時点で総額106,310,913円ものご寄附と多くの物資をいただきました。
皆さまの温かいお気持ちは、現場の医療スタッフの大きな励みになっています。本当にありがとうございます。

プロヴァイオリニスト・加藤玲名さんより
今年もご寄附をいただきました！

クリスマスコンサートやチャリティーコンサートで集めた「新型コロナウイルス医療対策支援金」を昨年に引き続き当院にご寄附いただきました。加藤玲名さんは、2022年7月7日にJ:COM浦安音楽ホールで開催される七夕コンサートなどにおいて、これからも新型コロナウイルス医療対策支援や東日本大震災支援を目的に、募金を続けていかれるとのことです。

個人

渡邊 裕司 様
和田 実 様
折本 稔 様

法人等

東京海上日動あんしん生命保険株式会社 様
東京海上日動火災保険株式会社 様
学校法人 鬼木医療学園 様
京葉内研工業株式会社 様

ご芳名は、2021年12月～2022年3月に一定金額のご寄附および公開のご承諾をいただいた方をご寄附をいただいた順に掲載しています。
(クレジットの入金日などの関係で掲載が次号になる場合があります。)

2022年1月発行のいのほなHarmony64号にて、以下の誤りがありました。
謹んでお詫び申し上げます、ここに訂正いたします。

(誤) 株式会社サクラ整備 様 (正) 株式会社サクラ設備 様

ご寄附のお申し込みはこちら

外来診療棟1階の簡易郵便局に専用の払込取扱票
(郵便局用)があります。どうぞご利用ください。

※2022年1月から現金でご寄附いただく場合には110円/件の料金が加算されます。



寄附金の活用事例

コロナワクチンセンターの研究に活用しました



コロナワクチンセンターの設置やワクチン接種前後の職員の抗体価の検査費用などに使わせていただきました。

トイレの感染対策を強化しました



患者さんからの「コロナの感染が不安なので便座除菌クリーナーを設置してほしい」という要望にお応えし、利用頻度の高い外来診療棟1階のトイレ15か所に設置しました。

ご寄附に感謝する
サンキューシールを
貼付しています

cover

これからの医療を担う若手Doctors

当院は医療機関であり、未来の医療人を育成する教育機関でもあります。この春、52名の研修医が医師デビューしました。立派な医師になるため、しっかり学びますので、どうぞ研修にご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

(写真左から)北岡大吉、竹本雅実子



message

病棟に入るには「入館許可証」が必要です

当院は現在、入院患者さんへの面会を禁止しています。やむを得ず病棟に入られる場合は、患者支援センターで入館許可証をお受け取りください。入館許可証をお持ちでない方は、病棟に入れません。感染対策の徹底に、ご協力よろしくお願いいたします。



平日：午前9時から午後6時 患者支援センター(外来診療棟1階)
※上記以外は時間外出入口(中央診療棟1階)警備室または休日受付

【発行】千葉大学医学部附属病院
〒260-8677 千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1
TEL:043-222-7171 (代表) Mail:byoin-koho@chiba-u.jp



千葉大学病院ホームページ
<https://www.ho.chiba-u.ac.jp/>
※バックナンバーをご覧ください



この印刷物は、SCOPE1
とSCOPE2の温室効果
ガスをゼロにした工場
で印刷しています。